



**本はみなさんの一生の友だちです。
だから、たくさん本と出合ってください。
そのためには、一番近くにある学校の図書室をどんどん活用しましょう。**



■ 尼崎の図書施設

みなさんが通う学校には必ず[図書室]がありますね。学校の図書室は[学校図書館]ともいいます。皆さんが「本を読みたい」「こんな本を探したい」「こんなことについて調べたい」と思った時に、まず最初に行くのは、この[学校図書館]ではないでしょうか？ お金を使わなくても読みたい本が読める、とても便利な場所ですね。でも「学校図書館に行っても目的の本が見つからなかった!」という場合もあります。

そんな時は図書館に行ってください。尼崎には中央図書館と北図書館があり、両方で71万冊以上の本があります。調べたいことがあれば、レファレンスの専門の人が必要な本を探してくれます。「どこでも・いつでも・だれでも」本に親しむことができるように、図書館はいろんな準備をして待っています。

■ 尼崎の図書館「尼崎市立中央図書館」と「尼崎市立北図書館」

<http://www.amagasaki-library.jp/Ama/index.htm>

尼崎市立中央図書館

〒660-0826 尼崎市北城内27番地 ☎06-6481-5244



蔵書: 約 543,000冊

(雑誌図書・点字図書・録音図書は含まれません)

- 貸し出し対象
市内の学校に通学している方 (※いずれも、生徒手帳などの身分証明が必要です)
市内でお仕事をされている方
阪神7市1町にお住まいの方 (尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町)

- 利用内容
個人貸し出し 貸し出し数: 10冊以内 貸出期間: 2週間以内
団体貸し出し 貸し出し数: 50冊以内 貸出期間: 1か月以内
コピーサービス 1枚につき、モノクロ 10円・カラー 30円

- 開館時間
火曜日～日曜日・祝日 一般図書 9:00～20:00 (日曜日・祝日は、9:00～17:15)
児童図書 9:00～17:15
(※貸し出し受付・コピーサービスは、閉館の30分前まで)

- 休館日
毎週月曜日 [この日が祝日の場合は、その直後の祝日でない日]
館内整理日 [毎月最終の木曜日(祝日の場合は翌日)・12月28日]
年末・年始 [12月29日～翌年1月3日]
(※その他、特別整理期間としての休館日があります)

尼崎市立北図書館

〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3丁目21番21号 ☎06-6438-7322

<http://www.amagasaki-library.jp/Ama/kitakan/index.html>

■ 平成21年度の貸し出し状況

- 中央図書館 → 利用者数: 250,120人 利用図書数: 960,831冊
- 北図書館 → 利用者数: 158,419人 利用図書数: 613,438冊

■ 平成21年度の行事

- 中央図書館 → 展示会: (3回) 11,000人 行事: (113回) 3,870人
- 北図書館 → 展示会: (4回) 4,880人 行事: (94回) 4,539人

■ ネットワーク

尼崎の図書館は公民館などの施設と「図書館サービスネットワーク」で結ばれています。読みたい本があれば、自宅のパソコンから予約し、近くの公民館などの図書サービス施設で受け取ることもできます。また、阪神7市1町(尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町)の16図書館の蔵書を検索することができます。他市の図書館の個人貸し出しや図書資料の取り寄せなどの利用も登録をすればできます。

＜取材メモ＞

図書館では「おはなし会」「朗読会」「えほんづくり」「大型紙芝居」などを寄るボランティアグループの皆さんに協力してもらっています。「おやこまつり」は「としよかんおはなしボランティアグループ連絡会」で実施してもらっています。

■ こんなこと、あんなこと...



借りたい本が図書室にありませんでした。どうすればいいでしょうか？

まず、図書室の先生かボランティアの人に相談してください。図書室に置いていない本は、リクエストをしておけば、時間はかかりますが、先生の許可が出た本は学校で新規に購入してもらえます。

中央図書館か北図書館に行けば、ほとんどの本はそろっています。この図書館が家から遠い人は近くの公民館へ行ってみてください。公民館にない時も、公民館の係の人に言えば図書館から取り寄せてもらうことができます。

どうしても急いで調べたいことがあるのですが、どうすればいいでしょうか？



図書館や公民館で一度にたくさん本を借りることはできますか？

1人で一度に借りることができるのは10冊までです。クラスのみなさんで図書室にない本など、いろんな本をたくさん図書館から借りたい場合は、学校を通じれば最大で50冊まで貸し出してもらうことができます。これを「団体貸し出し」と言い、最長1か月間借りることができます。

まず図書館で身分証明を提示して登録をし、「貸出券」を発行してもらいます。中央図書館と北図書館は、インターネットで図書館のホームページから、どんな本が置いてあるかを見ることができ、自分の読みたい本をさがすことができます。「貸出券」が発行されていれば、その情報にもとづいて自宅にいながらにして貸し出し状況を確認し、予約することができます。また、予約した本を近くの公民館で受け取ることもできます。

そのほかに、どんなさがし方や貸し出しの仕方がありますか？



全国学校図書館協議会が、平成22年度の読書調査の結果を発表しました。この調査は昭和43年より毎年行われており、「5月の1か月間に読んだ本と雑誌の冊数」を調べています。その結果、小学生は10.0冊、中学生は4.2冊、高校生は1.9冊になっています。また、0冊と回答した「不読者」の割合は、小学生は6.2%、中学生は12.7%、高校生は44.3%となっています。もちろんこれらは「読書の質」までは踏み込んでおりませんが...。高校生のみなさん、携帯電話をおいて、たまには印刷された「お気に入り」の活字をさがしに図書館でもいかがですか...? p(^_^)/

■ 年間の読書行事

- 子ども読書の日 (4月23日)
- 学校図書館の日 (6月11日)
- 文字・活字文化の日 (10月27日)
- 読書週間 (10月27日～11月9日)

**みなさんが読んだ本は、読んだ数だけあなたの心の栄養となって、
みなさんの心をより豊かなものにしてくれます。だから今のうちにたくさん
の本と出会い、あなた自身の豊かな心の基礎を創り続けていってくださいね...**

